

## SDGs 景気 DI (2020 年 1 月～12 月)

## SDGs に積極的な企業の景況感は企業全体の水準を上回る ～ 環境活動関連目標に取り組んでいる企業の景況感は比較的良好傾向に ～

データソリューション企画部

石井 ヤニサ、窪田 剛士

## 【要約】

1. SDGs (持続可能な開発目標) への取り組みに積極的な企業の景況感『SDGs 景気 DI (総合)』を算出したところ、2020 年 1 月～12 月における『SDGs 景気 DI (総合)』は、全体の景気 DI を上回っており、SDGs への取り組みに積極的な企業の景況感は全体より良好傾向にあることが明らかになった。
2. SDGs の 17 の目標を『人類の活動』といった視点から「環境活動」「社会活動」「経済活動」「パートナーシップ」と、4 つの視点で分類し、各グループにおける企業の景気 DI を算出したところ、「目標 13：気候変動に具体的な対策を」などに取り組んでいる企業の景気 DI 「環境活動 DI」は比較的高い傾向にあることが分かった。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



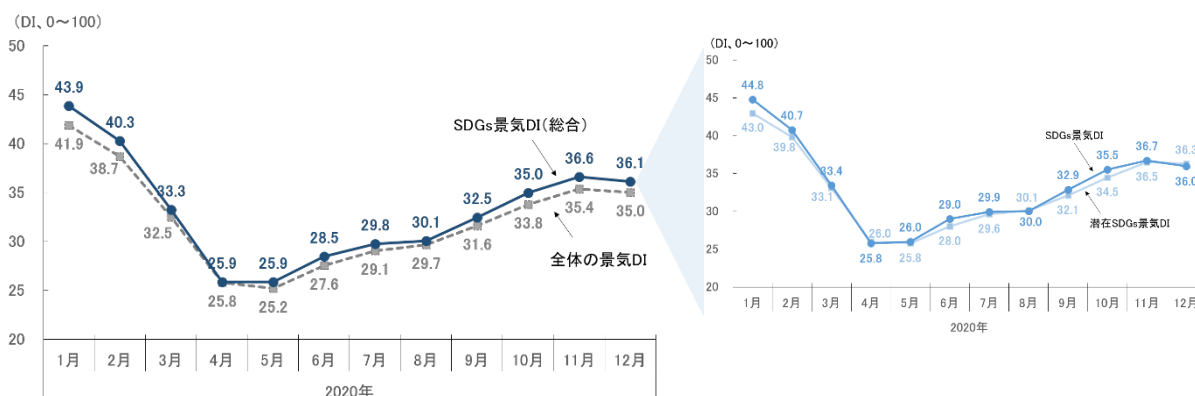
SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた「行動の10年」は2020年よりスタートし、国内外政府・行政セクターのみならず、民間セクターにおいても積極的な取り組みが求められている。なかでも、商品やサービスを世の中に提供し、経済・社会活動に深く関わる民間企業の関与は欠かせないものである。このように民間企業は、持続可能な社会の実現に貢献することはもちろん、SDGsをツールとして経営リスクを回避して自社の「持続可能性」を追求するといったメリットもあり、経営戦略に取り込む動きが世界中で広がる傾向にある。そこで、本レポートではSDGsへの取り組みに積極的な企業の景況感を捉えた。

## 1. SDGs への取り組みに積極的な企業の景況感は企業全体の水準を上回る

帝国データバンクが2020年6月に実施した「SDGsに関する企業の意識調査」によると、自社におけるSDGsへの理解や取り組みに関して、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」企業は8.0%となった。「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」（16.4%）と合わせると、企業の24.4%がSDGsに積極的ということが明らかになった。

そこで、同調査と「TDB景気動向調査」から得られた回答データより、「SDGs景気DI」「潜在SDGs景気DI」、および両者の統合指標として『SDGs景気DI（総合）』を算出した<sup>1</sup>。その結果、2020年1月～12月における『SDGs景気DI（総合）』は、全体の景気DIを上回っており、SDGsへの取り組みに積極的な企業の景況感は全体より良い傾向にあることが明らかになった（図1）。

図1 SDGs景気DI（総合）の推移



出所：帝国データバンク「TDB景気動向調査」および「SDGsに関する企業の意識調査」

## 2. 「環境活動」に関連するSDGsの目標に取り組んでいる企業の景況感は比較的良好

SDGsの17の目標を『人類の活動』といった視点から「環境活動」「社会活動」「経済活動」「パートナーシップ」と、4つの視点<sup>2</sup>で分類し、各グループにおける企業の景気DIを算出した（図2、図3）。

<sup>1</sup> 「SDGs景気DI」は、「SDGsに関する企業の意識調査（2020年6月）」において「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」と回答した企業の景気DI。「潜在SDGs景気DI」は、同調査において「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」と回答した企業の景気DI。

<sup>2</sup> 本分類は、スウェーデンで提唱されたSDGsの概念を表す構造モデルである「SDGsウェディングケーキモデル」に基づきながら、帝国データバンクにより再構成している。また、本分類は、2015年に開催された国連の持続可能な開発サミットにおける成果文書「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」（2030アジェンダ）との関連も考慮している。「2030年アジェンダ」については、外務省『「持続可能な開発の

その結果、「目標 13：気候変動に具体的な対策を」や「目標 14：海の豊かさを守ろう」などに取り組んでいる企業の景気 DI「環境活動 DI」は比較的高い傾向にあることが分かった。世界的に環境保全に向けた取り組みは加速している。日本においても政府が「2050 年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を目標に掲げるなど、環境活動に注力している企業の企業価値が上がることや政府による支援が景況感を促す一因だと考えられる<sup>3</sup>。企業からは「環境・景観に配慮した製品の開発を通して住環境を含む社会生活の向上に貢献する」（舗装工事）といった声にあるように、環境意識の高まりに合わせたビジネス展開を行っている例も表れている。

図2 SDGs の 4 つの視点

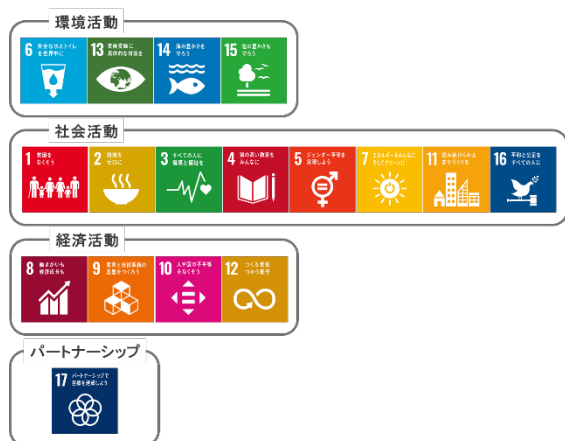
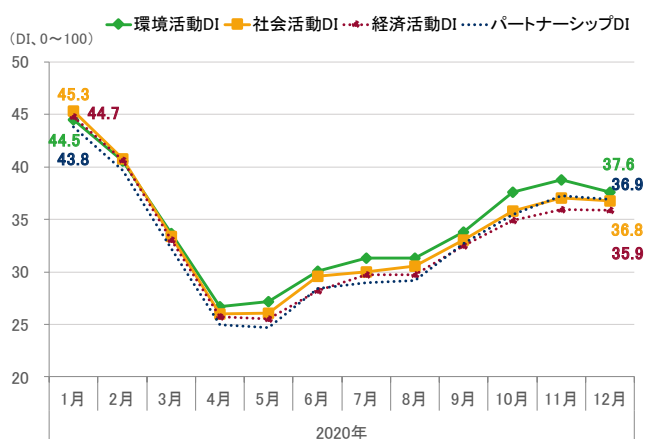


図3 SDGs 景気 DI の推移 ～視点別～



出所：帝国データバンク「TDB景気動向調査」および「SDGsに関する企業の意識調査」

## まとめ

企業が SDGs に取り組むことにより、企業イメージの向上や人材確保のほか、SDGs を通じて社会の課題を認知し、対応することで経営リスクの回避というメリットが得られ、持続的な成長の実現につながる。そのような性質から、金融機関や投資家の間で、企業が SDGs に取り組んでいるかどうかを投資の判断材料にする動きが広まってきている。

本レポートでは、帝国データバンクが実施した調査から得られた回答データより、SDGs への取り組みに積極的な企業の景況感『SDGs 景気 DI（総合）』を算出したところ、SDGs への取り組みに積極的な企業の景況感は全体より良い傾向にあることが明らかになった。また、視点別でみると「環境活動」に関連する SDGs の目標に取り組んでいる企業の景況感は比較的良好なことが分かった。

SDGs 投資を検討している金融機関などにとって「SDGs 景気 DI」は、SDGs のどのような目標に取り組んでいる企業の景況感が良いか、あるいは経済的ショックが起こる際、どのような目標に取り組んでいる企業が高い回復力を見せるのかという判断材料となりうる。他方、行政機関は「SDGs 景気 DI」から景況が悪い傾向にある企業の取り組んでいる目標を確認でき、その目標関連の支援策を見直すことにつながることも期待できる。

ための 2030 アジェンダ』を採択する国連サミット」

([https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/gic/page3\\_001387.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/gic/page3_001387.html)) を参照。

<sup>3</sup> ただし、本レポートの分析結果は因果関係を示すものではない。また、SDGs に取り組んでいることが企業の景況感に影響を与える一方、企業の景況感が SDGs への取り組みの意思決定に影響を及ぼすこともありうることに注意する必要がある。

<参考> SDGs 景気 DI および潜在 SDGs 景気 DI ~視点別~

		SDGs景気DI								潜在SDGs景気DI							
		環境活動DI		社会活動DI		経済活動DI		パートナーシップDI		環境活動DI		社会活動DI		経済活動DI		パートナーシップDI	
		前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	前月比	
2020年	1月	44.5		45.3		44.7		43.8		40.0		43.4		43.3		43.9	
	2月	40.6	-3.9	40.8	-4.5	40.6	-4.1	39.7	-4.1	36.3	-3.7	40.3	-3.1	39.9	-3.4	41.7	-2.2
	3月	33.7	-6.9	33.4	-7.4	33.0	-7.6	32.2	-7.5	30.8	-5.5	34.2	-6.1	32.4	-7.5	33.0	-8.7
	4月	26.7	-7.0	26.0	-7.4	25.7	-7.3	24.9	-7.3	25.4	-5.4	26.4	-7.8	25.3	-7.1	26.9	-6.1
	5月	27.2	0.5	26.1	0.1	25.5	-0.2	24.7	-0.2	24.3	-1.1	25.4	-1.0	26.4	1.1	25.4	-1.5
	6月	30.1	2.9	29.6	3.5	28.2	2.7	28.4	3.7	26.6	2.3	27.7	2.3	28.5	2.1	28.0	2.6
	7月	31.3	1.2	30.0	0.4	29.7	1.5	29.0	0.6	27.9	1.3	29.8	2.1	29.5	1.0	29.8	1.8
	8月	31.3	0.0	30.5	0.5	29.7	0.0	29.2	0.2	28.9	1.0	30.1	0.3	30.4	0.9	30.2	0.4
	9月	33.8	2.5	33.0	2.5	32.5	2.8	32.7	3.5	31.4	2.5	32.0	1.9	31.9	1.5	32.9	2.7
	10月	37.6	3.8	35.8	2.8	34.9	2.4	35.4	2.7	34.1	2.7	34.2	2.2	34.5	2.6	34.8	1.9
	11月	38.7	1.1	37.0	1.2	36.0	1.1	37.3	1.9	37.3	3.2	36.5	2.3	36.1	1.6	37.2	2.4
	12月	37.6	-1.1	36.8	-0.2	35.9	-0.1	36.9	-0.4	35.3	-2.0	36.3	-0.2	36.8	0.7	36.4	-0.8

<参考> SDGs 景気 DI および潜在 SDGs 景気 DI の内訳 (2020年12月)

	SDGs景気DI		潜在SDGs景気DI	
	前月比	前月比	前月比	前月比
<b>環境活動DI</b>	<b>37.6</b>	<b>-1.1</b>	<b>35.3</b>	<b>-2.0</b>
目標6: 安全な水とトイレを世界中に	40.1	1.1	36.8	-0.7
目標13: 気候変動に具体的な対策を	37.8	-0.8	34.7	-2.3
目標14: 海の豊かさを守ろう	38.3	-0.6	35.3	-2.0
目標15: 陸の豊かさを守ろう	38.4	-0.5	37.3	-1.6
<b>社会活動DI</b>	<b>36.8</b>	<b>-0.2</b>	<b>36.3</b>	<b>-0.2</b>
目標1: 貧困をなくそう	37.1	2.8	35.5	0.7
目標2: 飢餓をゼロに	36.5	-0.2	32.7	-3.5
目標3: すべての人に健康と福祉を	36.7	0.0	36.8	0.3
目標4: 質の高い教育をみんなに	35.0	1.1	38.9	-0.2
目標5: ジェンダー平等を実現しよう	36.7	1.0	34.6	-2.7
目標7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに	37.2	0.0	35.4	-1.9
目標11: 住み続けられるまちづくりを	36.9	-1.0	35.3	1.1
目標16: 平和と公正をすべての人に	36.4	0.7	40.7	4.5
<b>経済活動DI</b>	<b>35.9</b>	<b>-0.1</b>	<b>36.8</b>	<b>0.7</b>
目標8: 働きがいも経済成長も	36.6	0.2	36.9	0.2
目標9: 産業と技術革新の基盤をつくろう	38.3	0.4	38.8	1.0
目標10: 人や国の不平等をなくそう	36.7	1.8	31.5	2.5
目標12: つくる責任つかう責任	36.1	0.0	35.9	1.5
<b>パートナーシップDI</b>	<b>36.9</b>	<b>-0.4</b>	<b>36.4</b>	<b>-0.8</b>
目標17: パートナーシップで目標を達成しよう	36.9	-0.4	36.4	-0.8

【問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

石井 ヤニサ、窪田 剛士

03-5775-3163 keiki@mail.tdb.co.jp

帝国データバンクで毎月実施している TDB 景気動向調査にご協力いただける企業さまは、こちらから登録できます (スマートフォン等をお使いの方は QR コードからも可能です)。

<https://www.tdb-di.com/ent/rent.html>



当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。